



生産技術科 野菜コースが現場見学会を実施しました。

目的 農業の複合経営に取り組み農事組合法人で、新潟県農業の現状や法人設立の経緯、運営上の課題等を聞き今後の学習に役立てる。

日時 平成30年11月26日(月) 14:15 ~ 15:30

場所 木津みずほ生産組合(新潟市江南区木津3-8-11)

対象生徒 生産技術科野菜コース 44名(2年20・1年22)

実施内容 ①越後姫(イチゴ)・ミニトマトの施設見学
②複合経営化について
③農事組合法人設立の経緯とメリットについて

講師 木津みずほ生産組合 代表 坪谷 利之 様
A F カガヤキ農園 取締役 藤田 重実 様

成果 研修後、将来農業関係に就職を希望する生徒は、2年生は11名、1年生は6名に増加した。農業現場で生きた声を聞き就農に対する関心が高まった。



木津みずほ生産組合 坪谷 利之 様



A F カガヤキ農園 藤田 重実 様

講師からの助言 高校卒業後にすぐに農業生産法人へ就職するよりも、広い視野をもって、いずれ新潟県の農業を担う人材になって欲しい。私は高校時代、農業教育を受けていない。皆さんの方が高校段階では、知識等あると思うので頑張ってもらいたい。

今後の課題 学校で学んでいるだけでは地域の農業について知らないことが多く、外へ出て農業者の話を聞くことが成長につながると感じた。そのことが生徒の農業への興味関心を高め、大きな刺激となる。今後も定期的に外での研修を計画していきたい。

生徒の感想 ○農業は難しいことを理解したと同時に、人生とは何かを学んだ。もっと農業を深く知りたいと感じた。
○日本のコメが海外でも、結構食べられていることが分かって嬉しかった。
○複合経営が上手くいくと、経営が楽になるということを知った。
○近隣農家同士が足を引っ張り合うのではなく、助け合うことが大事だと思った。
○学んだ事を今後の野菜の実習で活かせるように頑張りたい。



栽培中のミニトマト



説明を聞く野菜コースの生徒

